



## たなばた 七夕まつりはこれから楽しむ☆≡

今年も7月7日には七夕まつりが各地で行われましたね。この時期は梅雨のま  
ただ中で関東地方では雨の心配が多い中ではありますが、短冊や吹き流しが笹竹に  
飾られ、にぎやかなお祭りが各地で行われました。

願いごとを書いた短冊の思いが、天に伝わるようにお祈りし、また、織姫星と彦星  
が7月7日の夜、1年に一度だけの会うことができる日として、お天気が良いこと  
を願いました。ところが、今年もお天気が悪かった地域が多かったようです。

「七夕伝説」が中国から伝わってきたのは奈良時代のことでしたが、日本ではその  
頃から明治時代の初期までは、旧暦（太陰暦）の暦を利用していました。

旧暦の7月7日は、現在の暦（太陽暦）ではいつに相当するのか調べてみますと、  
今年8月22日に相当します。

なんと今年の7月7日、七夕の日から1か月以上も後の日程なんですね。

七夕の伝説ができた頃の暦に合わせた行事と考え、8月22日を七夕まつりに  
定めた方がお天気も良いことが多く、夏休みの期間中でもあり、お祝いしやすいとい  
えますね。

国立天文台ではこの旧暦の日程を「伝統  
的七夕」と呼び、情報公開しています。そ  
のほか、7月7日の梅雨時期を避け、月遅  
れの8月7日の頃に七夕まつりを行う地  
域もあります。

7月7日に星が見えなかった人も、8月  
に2回ある七夕で星空を眺めてみるとい  
いのではないのでしょうか。



七夕かざり